



NILZZ

RACING FACTORY

AUTOPOLIS GT 300km RACE

SUPER GT SERIES 2021

ROUND.6 RACE REPORT

カテゴリ	: SUPER GT SERIES 2021 GT300 クラス	公式練習	: 1'45.296 (GT300 クラス 24 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'45.221 (GT300 クラス B 組 14 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ----
マシン名称	: 植毛ケーブフロンティア GT-R	決勝	: ---- (17 周)
ドライバー	: 田中優暉・内田優大		
開催地	: オートポリス (大分県)		
開催日	: 2021.10.23~2021.10.24		
天候	: 晴れ (10.23) 晴れ (10.24)		
イベント 動員数	: 6,500 人 (10.23) 10,300 人 (10.24)		





2021年スーパーGTシリーズ第6戦が10月23日～24日に大分県のオートポリスで開催された。コロナウイルス蔓延により、昨年の開催がなかったため、オートポリスでのSUPER GT開催は2年ぶりとなる。今回は第2ドライバーに、今期360号車で参戦している内田優大を起用。NILZZ Racing 4人目のドライバーとして田中優暉とコンビを組むこととなった。

10月23日(土) 公式練習

この日のオートポリスは快晴。しかし陽が強く射すものの風が吹くことで気温は低いコンディションとなった。9時15分から行われた公式練習。NILZZ Racingはまず田中がマシンチェックとセットアップを進め、終盤は内田が予選を想定したプログラムを進めていった。途中3回の赤旗中断を挟む荒れた公式練習であったが、NILZZ Racingは大きなトラブルもなく無事セッションを終え、午後に行われる公式予選に向けて順調に駒を進めた。

10月23日(土) 公式予選

午後から行われた公式予選Q1。GT300 Bグループに割り振られたNILZZ Racing。Q1アタックドライバーは内田が担当した。10分間というわずかな時間の中、コースインした内田は入念にウォームアップを行い、1分45秒221までタイムを縮める。しかしQ2突破ラインには及ばず、GT300予選Q1 Bグループ予選は14番手。予選Q2終了後の総合結果では28位となった。





11月24日(日) 決勝

予選日同様のコンディションで迎えた決勝日。13時30分から2周のフォーメーションラップを経て、第6戦の決勝レースがスタートした。

NILZZ Racing のスタートドライバーは内田が担当。

スタート後、順位をあげるべくバトルを展開しつつ周回を重ねていった内田。

GT500とGT300、異なるクラスのマシンが入り乱れる混戦の中、8周目の第2ヘアピンで22号車と接触。

NILZZ Racingはこの接触によりマシン右前部の外装が破損した。

レースはこの直後にフルコースイエロー (FCY) が導入、22号車の回収に時間がかかることからセーフティカー (SC) 導入へと切り替えられた。

16周目にリスタート、18周目に3コーナー侵入で35号車を内側からオーバーテイク、その直後の立ち上がりで内田の左リアと35号車の右フロントが接触。この接触により不意にコントロールを失った内田はガードレールに激しくクラッシュ。クラッシュの衝撃は凄まじく、スピン状態で4コーナーのアウト側まで弾かれてしまう。

内田に怪我がなかったことが非常に幸いであった。

しかしマシンは大ダメージを受け、NILZZ Racing の第6戦は序盤でリタイヤという残念な結果に終わった。

まずはクラッシュした内田が無事だったことに安堵しております。

クラッシュしたマシンの修復は、次戦茂木大会まで残された日数は非常に短く、非常に厳しい状況ではありますが、必ず戻ってきます。そして今シーズン残り2戦を全力で戦っていきます。

次戦は我々 NILZZ Racing のホームコースとなるツインリンクもてぎでのレースとなります。

引き続き皆様のご支援、ご声援の程、宜しくお願いたします。

